

なぜ今、副業が必要なのか？

～変化の時代を生き抜くための新しい選択肢～

会社に依存することができない時代

なぜ副業が必要と言われるのでしょうか？

私は「安定を信じる人が、一番不安定になる時代」へ突入しているからだと思います。

- 30年前の花形企業は今の斜陽産業に
- AI代替により雇用は大ピンチ
- 昇給が物価上昇に追いつかない

かつて、「入れば安心！」と言われた企業でも、**この20年で状況が一変**しています。

大量リストラ、外資からの買収、市場の急速な変化...

今は、先がまったく見通せない時代になっています。どんなに安泰と言われる業界や会社に入っても、安心はできないのです。

理由①：20年で業界の勢力図が逆転する

⇒ガラケーはスマホ、レンタル市場はネット配信に取って替わった。

自動車メーカーは日産が外資に買収、三菱は日産の傘下に。20年前（2005年）には考えられなかった。

理由②：定年まで勤め上げられる企業は減っていく

⇒かつての花形企業で大量にリストラ

- みずほ銀行：2割削減（2021年）
- パナソニックHD：1万人
- 日産：1.1万人（2025年）

いくら貢献しても、**会社は従業員の人生に責任を取ってくれません**。それだけでなく、倒産する可能性さえあるのです。

さらに、今の日本の解雇規制は、じわじわと緩和されるでしょう。規制強化の議論はほとんどなされていません。

つまり、**企業に依存できない時代だからこそ、自分でお金を稼ぐ力をつけることが重要なのです。**

自分でお金を稼ぐ力＝「稼ぐ力×希少性×継続する力」

私は、お金に困らず生きていくためには、「**稼ぐ力×希少性×継続する力**」という3つの力が必要だと思っています。

稼げない、希少性のない職業は淘汰されるからです。以下、すでに淘汰されつつある職種の例です。

一般事務員

- 付加価値が低い
- 求人の競争率が高い

飲食店のホール、各種レジ打ち

- 外国人労働者への代替
- AIの進歩による無人化

結果として・・・

- 昇給、待遇改善が難しくなる
- 人員整理で真っ先に不要になる
- 転職市場で必要とされなくなる

ひと昔前に比べて、**会社は生産性に対して非常にシビア**です。

会社への貢献度と生産性が低い人材は、間違いなくキャリアで苦戦します。

会社に依存しない生き方

3つの力のうち、少なくとも**稼ぐ力と希少性があれば会社に依存しない生き方**ができます。

自分の力で生きていくことができるのです。

稼ぐ力のある職業

- 営業職
- マーケター
- 企画職 など

希少性のある職業

- 医師
- 弁護士
- 火山観測研究員 など

もちろん、医師や弁護士といった職業に今から挑戦するのは難しいと思います。

しかし、「稼ぐ力×希少性」は副業によって身に付けることができるのです。

たとえば、会社のカンバンに頼らずゼロから5万円稼ぐことは、サラリーマンの5万円とは比べ物にならない価値があります。

サラリーマンで月30万円稼げばよくない？

と思われる方もいるでしょう。

しかし、サラリーマンの年収は本人の能力が全てではありません。なぜなら、サラリーマンは**完成されたビジネスモデルを再現しているに過ぎない**からです。

- ゼロからお金を稼ぐスキル
- 言い訳をせず前向きに取り組む心構え
- 「何がお金になるか？」を追求できる思考

これらの能力はすべて副業で得られ、サラリーマンでも優秀な人は習得しています。

しかし、**会社勤めで習得できる人はごく一部だけ**です。

会社にいるだけでお金をもらえてしまうため、成果を上げようという動機がどうしても薄くなるからです。

副業でスキルを得る＝「希少性」の獲得にもなるのです。

副業には「継続する力」が必要

さらに、副業には継続する力が必要です。

副業で**ゼロから成果を出すには半年～1年間は必要**だからです。いくら得意な分野でも、継続できなければ意味がありません。

継続するためには、「苦にならず続けられる」仕事でなければなりません。誤解されがちですが、**モチベーションは一切関係ない**です。

モチベーションに頼ると、気持ちが落ちたときにリカバリーできません。

やる気が落ちていると、「めんどくさい」の力に負けてしまっていて続けられないのです。

だから、休日でも「ヒマだからやるか...」と**苦も無く取り掛かれるマインド**が必要になります。

- 周囲から止められてもやりたくなること
- 周りの人はやらなくても、ついこだわってしまうこと

この2軸で考えるといいと思います。

エンキャリの場合は、文章を考えること、調べることが苦にならないので、ブログ（WEBライティング）を選びました。

動画編集もやっていますが、継続しやすいなと思うのはやはりブログです。

副業はどれを選ぶ？

副業の種類はどんなものがあるでしょうか？

- アフィリエイトブログ
- WEBライティング
- セどり
- 動画編集
- バナー、イラスト作成 ほか

このほかにも何種類もあります。

どれを選べばいい？と思った方は、**気になったものに取り組んで**ください。

やってみないと向き不向きがわからないからです。

エンキャリは前職で専門商社の営業職をしていました。

だから、「逆に人に会わない仕事をやってみたらどうなのかな？」と思ってWEBライターを選びました。

机の前でコツコツ進める仕事が、やってみて初めてドンピシャにハマることがわかりました。

副業はどこで応募する？

副業の手始めとして、**まずは低単価案件で実績を積みましょう。**

実績ゼロで高単価案件を受注できる可能性はゼロです。

たしかに、未経験を積極的に採用する募集も確かにいます。でも、9割は「スクールの勧誘」「高額商材の営業」が目的のサギ案件です。

応募サイト

- クラウドワークス
- ランサーズ

実績を積めたら、ステージを上げましょう。

- Wantedly (IT、ベンチャーに特化)
- 知り合いの紹介

ただ、コンビニや飲食店といった**アルバイトはオススメしません**。

- 希少性も稼ぐ力も身に付かないから
- 会社にバレる可能性が高いから

雇用契約を結ぶ仕事は、本業の会社から住民税や社会保険料が天引きされることでバレます。

1本○○円といった固定報酬制の方が、得られるものがはるかに大きいです。

あなたが思う理想の仕事のあり方は？

副業を始めるにあたり、あなたはどのような「仕事のあり方」を想像していますか？

1. **本業＋副業**でしっかりと月収を増やす
2. スキルを身につけて、**副業収入⇒本業も理想の仕事に転職**する
3. 今の本業を**すぐにでも転職**する
4. マルチ商法は取り組みたくないけど、**権利収入は欲しい**

あなたにとって「これが理想の姿！」という働きかたがあれば、ぜひ目指してみてください。

間違いなく人生が変わります。

それぞれの働きかたを叶える4つのロードマップを公式LINEでお配りしております。

私が3年間、副業の試行錯誤を積み重ねて、**会社への依存を脱却した集大成がここ**にあります。

このブログを読んでくださった皆様にこそ、読んでいただきたいです。

あなたの理想の仕事のあり方を1～4の番号で教えてください。



最後までお読みいただき、ありがとうございました！